

たんちょう通信

～ 第 49 号 ～



丹羽 孝直

こんにちは、丹頂ガスの丹羽です。先月、社員旅行で北海道へ行ってきました。最終日に昨年の9月に起こった北海道胆振(イブリ) 東部地震で被災した厚真町を訪問しました。山肌の地滑りはまだ記憶に浅いと思います。語り部の原 祐二さんの説明を受けながら、厚真町の一部を視察してきました。厚真町は自然豊かな肥沃な土地です。北海道の中でも比較的温暖な土地で、田畑が広がり北海道米が有名な地域です。面積は約404km²、「ちょうど四日市市と鈴鹿市を足したぐらいの広さで、そこに4,650人が住んでいます。」と原さんは開口一番にお話しされ、私たちを迎え入れてくれました。バスの車窓から見た光景は、今までに見たこともない「自然の力」というよりもむしろ「自然の怖さ」を目の当たりにしました。この土地は、大昔に火山が噴火して、積もった火山灰の上に土壌が流れ込み出来た土地です。実際、地滑りは地面からほんの50cm～100cmの間で起り、地震発生からわずか2～6秒で地滑りが起こりました。数日前から降り続いた大雨で「地面が緩んで」いるところに「震度7の大地震」が地面を大きく揺らして「悪い条件」が重なって起こった災害でした。厚真町の10分の1にあたる40km²が被害に遭い、植林地も多く「木の根が浅い！」昔この土地に住んでいたアイヌ人は川のほとりに住んでいたそうです。この土地の特徴をアイヌ人は知っていたかもしれませんが、しかし、現代になって、度重なる川の氾濫により人々は少しずつ山の方へ移動して行くようになりました。その結果、残念なことに被害に遭ったのはすべて、山の麓の家でした。アイヌ人は文字を持たない民族であり、昔の出来事の文献が何一つ残っていないそうです。歴史的にこの土地は、500年ぐらい前に大地震が起こっています。江戸時代に日本人が蝦夷地へ移住してから200年経ちますが、それ以前の出来事が伝えられていなかったことが悔やまれます。自分の住んでいる「地域の特徴」と「過去の出来事」を学ぶことが大切であると改めて実感しました。お世話になった語り部の原 祐二さんに感謝すると共に、一日も早い厚真町の復興と被害に遭われた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



* 防災コーナー *

応急手当のしかた

災害時には、切り傷や骨折ほど、様々なけがが想定されます。

骨折の場合

① 骨折部の外側・内側からあたる副木を用意します。(骨接部の両側の関節より長いもの)

- ・新聞紙
- ・雑紙
- ・段ボール
- ・傘ほか代用できます。

② 患部を固定します。
ハンカチ、タオル、ネクタイなど、固定に使えます。



③ 腕を吊る
吊るときに使えるもの
→ レジ袋・スカーフ・ベルトなど





皆様こんにちは。入社2年目の原田優蘭です。私は今年の2月のバレンタインに行行列のできる「アムール・デュ・ショコラ」へ友達と2人で行ってきました。初めて行ったので販売しているフロアに入った瞬間、あまりの人の多さに驚きました。お目当てのチョコレートを買うだけでも一苦労でした。1000円ほどのチョコレートでいいのがあったので買いました。あまりに人が多くて疲れたので友達とすぐに帰りました。帰りの道中、財布の中を見るとお金が足りないことに気がきました。1万円だして1000円のチョコレートを買ったのにおつりが入っていません。「なぜ?」と思い、レシートを見ると打ち間違いをされていました。私も人ゴミの中、人酔いしていたため、おつりの確認をすっかり忘れていました。私は友達のカホに「おつりが全然足りない」と言いました。そしたら、カホが「もしお金が返ってこやんだら私に言って!! 私も説明してあげるから!!!」と言ってくれました。私はすぐに電話して、事情を話しました。すると、お店の方も納得して頂いて郵送で後日、返金してもらえらることになりました。その瞬間すごくホッと安心しました。私はこの糸経馬喰から人ゴミの中での買い物でもちゃんとおつりは確認しなければいけないなと思いました。



はらだ ゆらん
原田 優蘭



皆様、こんにちは。入社3年目の藤本桃佳です。令和になってはや、1ヶ月が経ちました。テレビを見ると交通事故のニュースをよく目にします。あまりにもよく目にするので、令和になってから、どのくらいの事故が起きているのだろうと気になり、5月の事故件数を調べてみると、三重県だけでも人身事故は1,601件、物損事故と合わせると、約20,000件以上の事故が起きていました。普段運転をしていると、事故現場を見ることがないので想像以上の件数で驚き、私も毎日運転をするので他人事ではないなと感じました。また、高齢者ドライバーによる事故も多発しており、私の祖父母も運転を日頃よくしているのでとても心配になりました。一人一人が気をつけていれば、防げる事故はたくさんあると思います。速度超過・ながら運転・飲酒運転をしない。当たり前のルールをしっかり守り、事故の少ない時代になってほしいです。



藤本 桃佳

